

令和8年度医学部医学科学校推薦型選抜における 新たな選抜方法の概要等について（予告）

令和7年5月2日
京都府立医科大学

医学部医学科学校推薦型選抜において、令和8年度入学者選抜（令和7年度実施）から新たな選抜方法を導入することは、令和6年6月21日付けで予告済です。その概要等は以下のとおりですので、改めてお知らせいたします。詳細については、今後公表する「令和8年度入学者選抜要項」及び「令和8年度学校推薦型選抜学生募集要項（医学部医学科）」で確認してください。

1 医学科学校推薦型選抜における新たな選抜方法の概要

名 称	医学科学校推薦型選抜（全国一般枠）
趣 旨	医学分野における次世代リーダーとして国内外に貢献することが期待される人材を求めることを目的とする。卒業後はもとより、在学中においても、国際的視野に立って医学・医療を世界へ発信しようとする熱い意思を有することが期待される。
求める学生像	将来、医学・医療に関するさまざまな課題に対する問題発見力・解決力をもち、国際的に活躍する医師もしくは医学研究者を目指す学生。あわせて、医学・生命科学に強い興味と探究心をもち、基礎学力を身につけて学習意欲が旺盛な人。
募集人員	5名以内（各校の推薦は2名以内）
出願資格・推薦条件	高等学校若しくは中等教育学校を令和7年3月以降に卒業した者又は令和8年3月卒業見込みの者で、下の①～③のすべての要件を満たし、学校長が責任をもって推薦できる者 ^{*注1} ① 高等学校等における調査書の学習成績概評がAに属する者で、人物、学力ともに優秀であり、将来、医学の分野における次世代リーダーとして国内外に貢献する意欲のある者 ② 令和8年度大学入学共通テストにおいて、本学が指定する6教科8科目を受験する者 ③ 合格した際に入学を確約できる者
選抜方法	第1段階選抜：共通テストの成績による。 第2段階選抜： 共通テストの成績、面接試験（面接A・B・C）の結果、出身学校長から提出された推薦書及び調査書並びに出願者本人が作成した志望理由書 ^{*注2} 及び「活動の振り返り」 ^{*注3} を総合的に判定する。 【面接試験の実施方法】 面接A：推薦書・調査書・志望理由書に基づく面接 面接B：「活動の振り返り」に基づく面接 面接C：グループディスカッション
実施日程	出願受付：1月下旬 第1段階選抜合格者発表：2月上旬 第2段階選抜：2月上旬 合格者発表：2月中旬
特記事項	本学校推薦型選抜の出願者は、他の国公立大学の学校推薦型選抜及び本学の学校推薦型選抜（地域枠）に出願することはできない。

<注1> 出願資格の詳細は、入学者選抜要項等で確認してください。

<注2> 志望理由書には、本学校推薦選抜を志望する理由と入学後の学修へのビジョンを 800 字以内で記述いただく予定です。

<注3> 「活動の振り返り」には、他者との関わりの中で主体的に行動し自身の成長につながったと思われる高校在学中の活動・経験（学校の内外を問わない）を1つないし2つ取り上げ、1200 字以内で記述していただく予定です。

2 現行医学科学校推薦型選抜の名称変更

新たな選抜方法の導入に伴い、現行医学科学校推薦型選抜の名称を「医学科学校推薦型選抜（地域枠）」に変更します。その概要は以下のとおりです。

名 称	医学科学校推薦型選抜（地域枠）
趣 旨	主に京都府の地域医療を牽引する次世代リーダーの育成を目的とする。医師の偏在等の社会問題の解決に向けて自ら取り組むなど、地域医療に最善を尽くす熱い意思を有することが期待される。
求める学生像	将来、地域医療に関するさまざまな課題に対する問題発見力・解決力を持ち、その解決においては独創性と指導力を発揮できる医師を目指す学生。あわせて、医学・生命科学に強い興味と探究心を持ち、基礎学力を身につけて学習意欲が旺盛な人。
募集人員	7名
出願資格・推薦条件	現行と同じ
選抜方法	
実施日程	
特記事項	本学校推薦型選抜の出願者は、他の国公立大学の学校推薦型選抜及び本学の学校推薦型選抜（全国一般枠）に出願することはできない。